

陽だまり

9月8日

生徒指導通信No.10

始業式の話から「命」について

新学期が始まるにあたって、友達関係や勉強など久しぶりの学校生活になじめるか不安を感じている人、将来の進路について悩んでいる人、様々な思いや悩みを抱えている人もいるのではないのでしょうか。そんな不安や悩みがあるときは、どうか一人で抱え込まず、その気持ちを言葉にして信頼できる人に話してみてください。家族や友達、先生、スクールカウンセラーなど、周りの大人はみんなの不安をしっかりと受け止めてくれます。もし身近な人に話しづらいときは、電話や SNS・チャットなどの相談窓口を利用することもできます。うまく言葉にならなくても、どんなに小さなことでも大丈夫です。あなたの声を届けてください。

そして、もしあなたの周りに元気がない友達がいたら、そっと「大丈夫？」と声をかけてあげてください。もし悩んでいる友達から相談を受けたら、ぜひ信頼できる大人や先生につないでほしいと思います。みんなでお互いを支え合い、温かく思いやれる学校にしていきたいと思います。

9月10日から16日は「自殺予防週間」で、かけがえのない命、そして「あなた」という存在を大切にしてください。みなさんの悩みや不安を受け止めてくれる人は、必ずいます。

2学期は行事も多く、みなさんが大きく成長できる実り多い期間です。焦らず、自分のペースで、少しずつ学校生活のリズムを取り戻していきたいと思います。何かあればいつでも相談してください。

地域の方への感謝と通学路のマナー

雨の日が多かった先週の1週間、いつもの交差点ではなく、あかしあ台方面に朝の交通整理に行った際、地域の見守りボランティアの方々にお会いすることができました。

雨が強く降る朝、横断歩道で傘を差しながら、もう片手の手で旗を振って交通整理をしてくださっていました。ご自身の服や靴がぬれるのもいとわず、通過する車に頭を下げ、児童生徒に「おはよう」「いってらっしゃい」「気をつけてね」と声をかけてくださる姿がありました。

このように通学路や交差点に立ってくださっている「見守りボランティア」をはじめとする地域の方々が私たちの安全を日頃から支えてくださっています。毎朝、交通整理や声かけをしてくくださる姿には、本当に感謝の気持ちでいっぱいになります。

以前、私が交通整理で立っていた際、1年生の男の子が「いつもありがとうございます」と声をかけてくれたことがありました。その一言で心がとても温くなり、「今日もまた頑張ろう」と思えたことを今でも覚えています。きっと見守りボランティアの方々も、同じような思いでみんなのことを見守ってくださっているはずです。

では、そんな地域の方々に対して私たちは何ができるのでしょうか。「毎朝、しっかりあいさつができていますでしょうか。」「交通ルール（通学路）を守って登下校できているでしょうか。」日々注いでくださる温かい支えに感謝の気持ちを持ち、全校集会で確認した通学路でのマナーやルールを一人ひとりがしっかり守って、気持ちよく登下校していきたいと思います。